

平成 21 年 10 月 22 日

各 位

会 社 名 トレイダーズホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 金丸 貴行
(証券コード 8704 大証ヘラクレス)
問合せ先 財務部長 大浦 隆文
(TEL 03-5114-0344 (代表))

特別損失の発生および第 2 四半期累計期間(連結・個別)業績予想の修正に関するお知らせ

平成 21 年 5 月 12 日付当社「平成 21 年 3 月期決算短信」にて発表いたしました平成 22 年 3 月期第 2 四半期累計期間(平成 21 年 4 月 1 日～平成 21 年 9 月 30 日)の連結・個別業績予想について、下記のとおり修正しましたので、お知らせいたします。

記

1. 特別損失の発生について

(1) 本社移転費用 (連結・個別)

当社グループは、平成 21 年 9 月に本店移転を行っております。これに伴い、使用していた設備の一部除却、撤去・解体工事および移動等に要する移転費用などが発生しております。これらにより、当第 2 四半期累計期間連結決算において、42 百万円、個別決算において移転費用 8 百万円を計上する見込みとなりました。

(2) 『ネットフォレックス』サービス終了に伴う固定資産の除却、減損 (連結)

当社連結子会社であるトレイダーズ証券株式会社 (以下、「トレイダーズ証券」といいます。)では、平成 21 年 8 月 28 日をもって、外国為替証拠金システム『ネットフォレックス』のサービスを終了いたしました。これに伴い、同サービスに使用していたソフトウェアについて現時点での資産性を検討した結果、固定資産等減損損失 50 百万円、リース解約違約金 18 百万円、固定資産除却損 1 百万円を計上する見込みとなりました。

(3) その他 (連結)

当社連結子会社であるトレイダーズ証券におきまして、金融商品取引責任準備金繰入 6 百万円 (当第 1 四半期連結会計期間末比 2 百万円増)、サーバ移転に伴う除却費用 2 百万円、原状回復費用 1 百万円、および投資組合解約損 2 百万円を計上する見込みとなりました。

2. 業績修正および修正理由について

(1) 連結業績予想の修正および修正理由について

平成 22 年 3 月期第 2 四半期累計期間 (平成 21 年 4 月 1 日～平成 21 年 9 月 30 日)

(単位：百万円)

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益	1株あたり 当期純利益
前回発表予想 (A)	2,040	△180	△190	△200	△838 円 36 銭
今回修正予想 (B)	1,730	△419	△442	△600	△2,517 円 54 銭
増減額 (B - A)	△310	△239	△252	△400	△1,679 円 18 銭
増減率 (%)	△15.2%	—	—	—	—
(ご参考)					
前期実績(平成 21 年 3 月期)	4,447	△740	△735	△1,611	△6,775 円 90 銭

当第 2 四半期累計期間の連結営業収益は、当初予想を 310 百万円下回り 1,730 百万円となる見込みです。これは主に、証券取引事業において、日経 225 先物、日経 225mini の取引高増加のための手数料施策等が当該事業者間の競争が激化したこと等により奏功しなかったこと、外国為替取引事業において、『ネットフォレックス』のサービス終了発表（平成 21 年 5 月 25 日）以降の顧客との取引高が当初予想時の想定以上に低水準で推移したことなどによるものであります。

連結営業損失は、当初予想を 239 百万円下回り 419 百万円、連結経常損失は、当初予想を 252 百万円下回り 442 百万円となる見込みです。これは主に、営業収益の下ぶれによるものであります。

連結当期純損失は、当初予想を 400 百万円下回り 600 百万円となる見込みです。これは主に、経常損益の下ぶれに加えて、「1. 特別損失の発生について」のとおり、当第 2 四半期において特別損失が 121 百万円増加し、当第 2 四半期累計期間における特別損失が 156 百万円となったことなどによるものであります。

(2) 個別業績予想の修正および修正理由について

平成 22 年 3 月期第 2 四半期累計期間 (平成 21 年 4 月 1 日～平成 21 年 9 月 30 日)

(単位：百万円)

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益	1株あたり 当期純利益
前回発表予想 (A)	150	△45	△46	△52	△217 円 97 銭
今回修正予想 (B)	154	△4	△1	△10	△44 円 41 銭
増減額 (B - A)	4	41	45	42	173 円 56 銭
増減率 (%)	2.7%	—	—	—	—
(ご参考)					
前期実績(平成 21 年 3 月期)	609	65	61	△1,025	△4,309 円 62 銭

個別営業収益は、当初予想を 4 百万円上回り 154 百万円となる見込みです。

個別営業損失は、当初予想を 41 百万円上回り 4 百万円、個別経常損失は、当初予想を 45 百万円上回り 1 百万円となる見込みです。これは主に、会計、IR などの業務において従来外注していたものを内省化するなど諸経費削減施策が奏効したものであります。

個別当期純損失は、前回予想を 42 百万円上回り 10 百万円となる見込みです。これは主に、経常損益の上ぶれに対して、「1. 特別損失の発生について（1）本社移転費用」に記載のとおり、移転費用 8 百万円を計上したことなどによるものであります。

3. 通期業績予想について

通期の業績予想につきましては、本日発表「株式会社 EMCOM TRADE の株式取得（完全子会社化）および完全子会社間の会社分割に関するお知らせ」にあります株式会社 EMCOM TRADE の完全子会社化および同社が営む外国為替証拠金取引事業を吸収分割によりトレーダーズ証券が承継することが、当社の業績に与える影響等を織り込んだ上で、平成 22 年 3 月期第 2 四半期決算短信（平成 21 年 10 月 28 日発表予定）にてお知らせさせていただきます。

以上

ご注意：本資料に記載しております業績に関する予想数値は、いずれも本資料の発表日現在において入手可能な情報による判断および仮定に基づくものであり、実際の業績は当該予想と異なる場合がありますので、予めご了解ください。